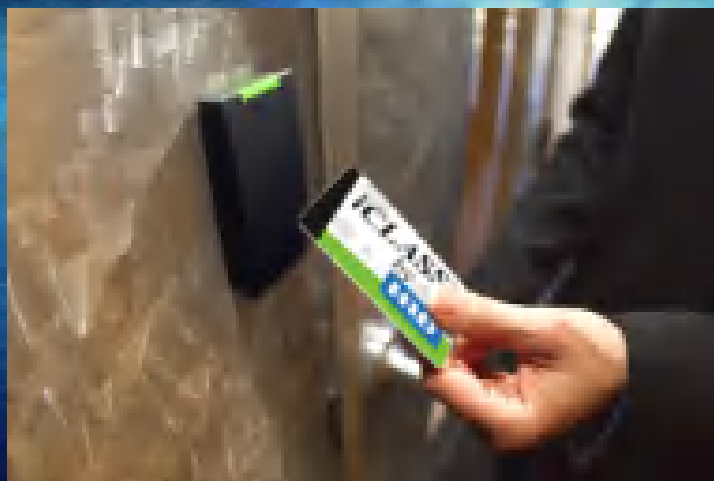




ICカード式 入退室管理システムのご提案



はじめに

- 今般急速な普及を遂げております非接触ICカードを利用した、入退室管理システムの導入をご提案いたします。
- オフィスの入退室に非接触ICカードをご利用いただくことで、不便をきたすことなくオートロックドアを導入することができ、常時施錠状態の実現により部外者の不用意な侵入を防ぐことができます。
- 既存でご利用の‘フェリカ’、‘マイフェア’規格のカードがある場合は、登録し入退室用として流用することも可能です。
- ネットワーク対応のコントロールシステムにより、社内LANに接続されたパソコンから専用管理ソフトウェアによる設定・登録操作が可能です。
- ぜひ最新式のカードシステムの導入をご検討くださるようお願い申し上げます。



入退室管理システム‘アクストラックス’の主な特徴

主要な非接触ICカード規格の読取に対応。

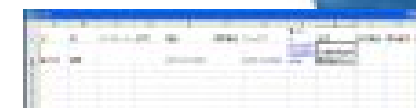
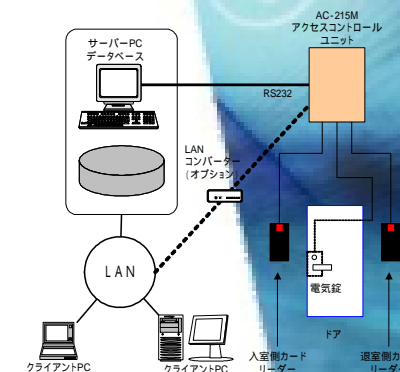
- アメリカで普及している‘iCLASS’カードを始め、国内で最も普及している‘FeliCa’カード、ヨーロッパを中心に普及している‘Mifare’カードの読取に対応しており、規格が混在した状態でも運用が可能です。
- iCLASSカードは、弊社で管理する連番のカードIDを利用しますので、初期番号と枚数指定により一括登録が可能です。また暗号化と相互認証による安全な運用を提供します。
- ‘FeliCa’及び‘Mifare’カードは、カード固有の製造番号を読み取り登録しますので、既存でお使いのカードがあれば、そのまま流用が可能です。その際は運用に先立ち、全てのカードIDを事前に読み取る作業が必要となります。

クライアント/サーバー形式の運用に対応。

- 基本構成として、まずWindows XP又は7のインストールされたPC1台に、管理ソフトウェアをサーバーモードで登録し運用します。もし別のPCからもカードの登録/削除の管理等を行いたい場合には、クライアントモードにより管理ソフトウェアを新たに登録し運用します。これにより社内、あるいはWAN越しに多地点、複数個所からシステムを管理することができます。この場合、サーバーモードで登録したホストPCは、常時起動している必要があります。

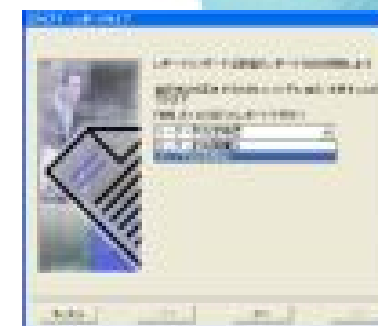
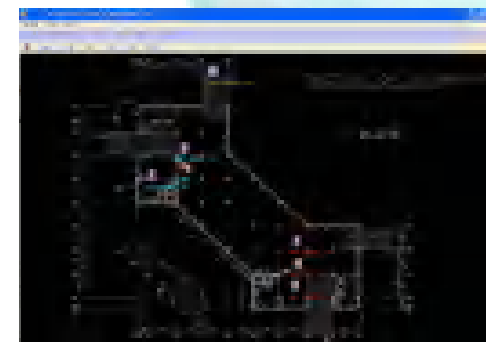
ユーザー情報を一括でインポート可能。

- 運用に先立ち、カード登録後、ユーザー別にカードを割り振る作業が必要となりますが、既存の社員名簿等からエクセル形式のユーザー情報リストを作成すれば、そのデータを一括インポートすることが可能です。これにより導入時の登録作業の負担が軽減されます。

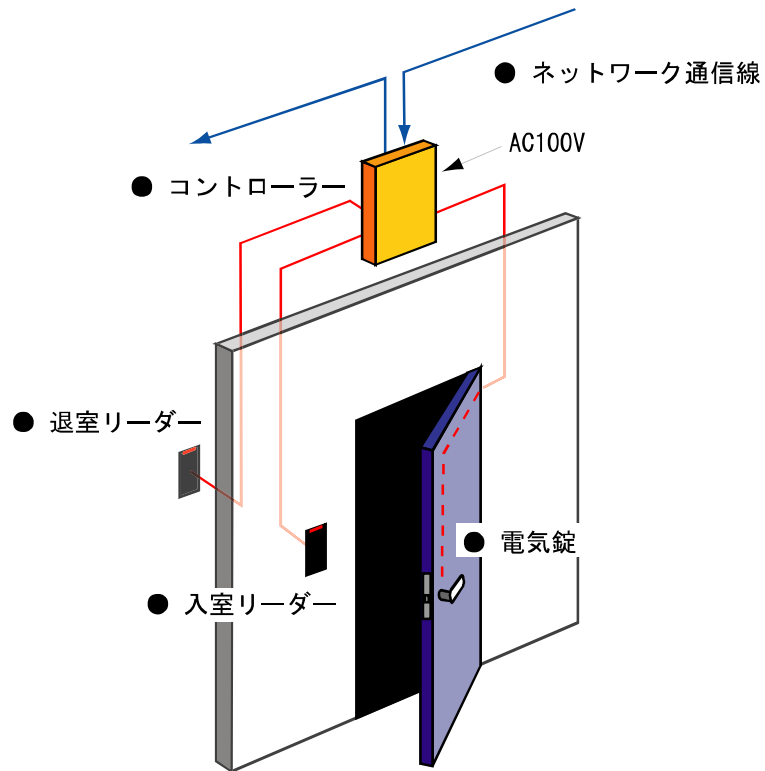


入退室管理システム‘ベリトラックス’の主な特徴

- マップ機能により、グラフィカルにドアの動作状況を把握可能。
 - ドア、リーダー等のアイコンをマップ画面上に配置し、扉の開閉状態、アラーム発生状況等グラフィカルに表示可能です。
 - マップを階層構造(入れ子状)で複数設定可能なため、現実に応じた位置関係を表現可能です。
- エリア内の在室確認が即時に可能。
 - ひとつの部屋(エリア)に複数の扉がある場合、どの扉を通過したかにかかわらず、部屋単位で現在の在室者を表示することが可能です。これにより、カード所持者の居場所をリアルタイムに把握することが可能になります。
- カードの有効期限を個別に設定可能。
 - ユーザーにカードを割り振る際、ユーザー別にカードの有効期限を設定可能です。これにより、一時的に特定エリアに出入りする人物に対しビジター扱いのカードを発行し、時限式のカード運用を可能とします。これにより管理者がビジターカードの回収を忘れても、自動的に無効になることでヒューマンエラーによるセキュリティ低下を防げます。



基本システム構成(ドアコントロール機器)



コントローラー‘AC-215’

1台で1ドアを制御できます。入室リーダーと退室リーダーの2台を接続可能です。電気錠を直接制御し、扉の開閉をコントロールします。



カードリーダー (IDm読取タイプ) ‘R10-T’

フェリカカードに固有の製造番号 (IDm) を読取り、コントローラーに信号を送ります。手軽にフェリカのシステムを導入できます。

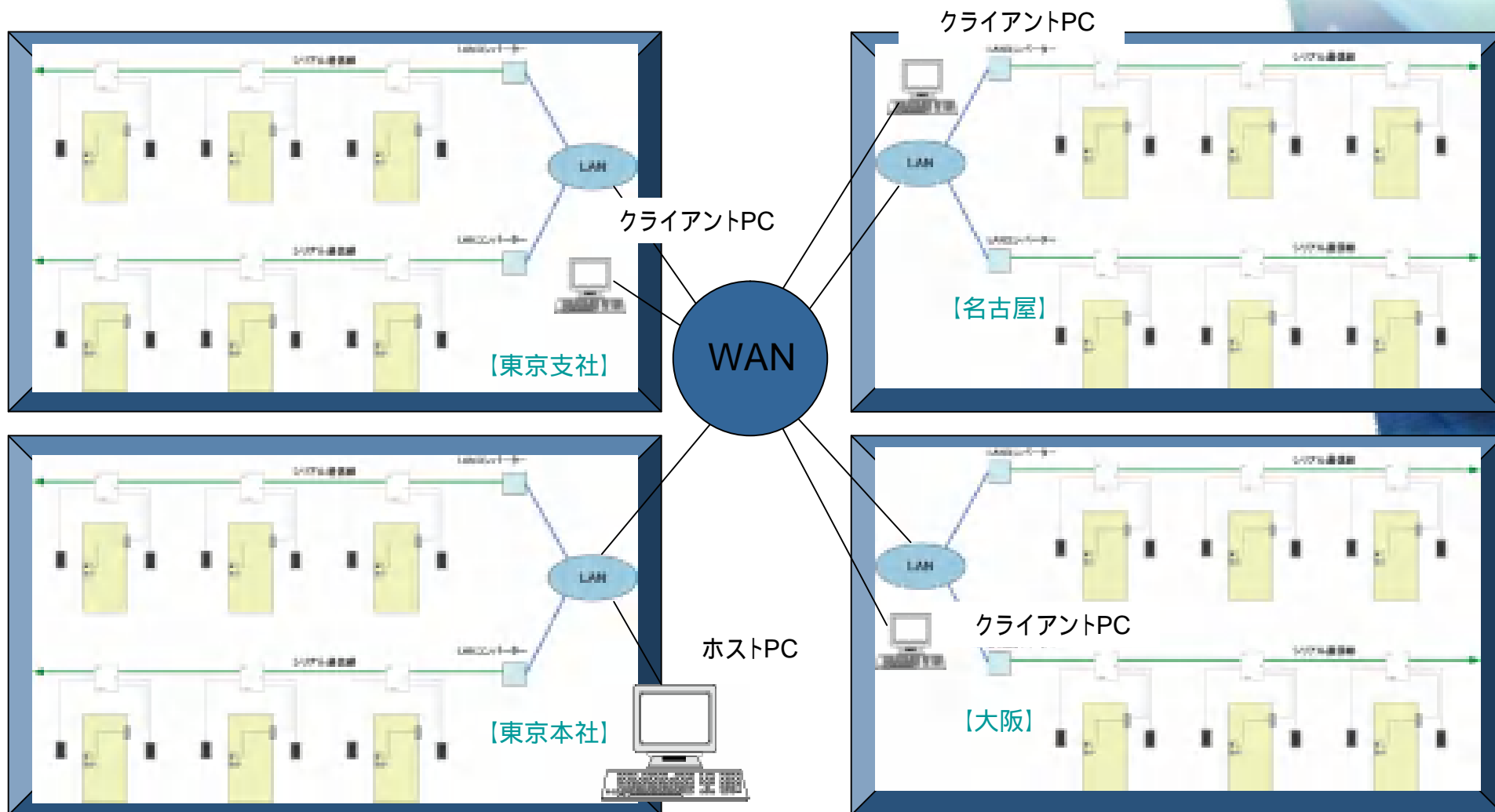


電気錠 (美和U9AUT等)

電氣的に施錠/解錠を制御する錠前です。扉の形式に合わせて最適な機種を選択します。

ネットワーク構成例

- 各拠点のフロアごとにLANコンバーターを配置し、ネットワークを構築します。
- 管理用ホストPCは本社に置き、サーバーとして運用させます。



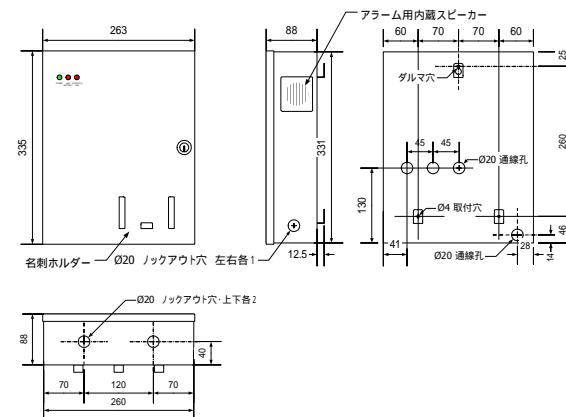
製品仕様【入退室コントローラー AC-215】

製品概要

本製品は、電気錠制御機能を内蔵した壁掛けケース型の入退室管理装置です。本体に機器設定情報、ユーザー登録情報、イベント履歴情報を記憶可能なため、専用管理ソフトウェアと常時通信するネットワーク運用、そして非通信状態での自律運行の両モードでの運用が可能です。また、リーダーを2台接続することにより、入室/退室の両方向の履歴を記録することが可能です。

製品仕様

品名	ネットワーク対応アクセスコントローラー
品番	AC-215
ユーザー登録数	最大5,000
イベント履歴数	最大5,000
入/出力端子	入力：4
	リレー出力：4（無電圧C接点 DC30V 5A MAX.）
リーダー端子	入力：2
	フォーマット：カード Wiegand 26～64bit
	キーパッド 6bit, 8bit burst
通信	RS232/RS485（最大32アドレス）、TCP/IP（別途LANコンバーターが必要）
電源	AC100V / 0.6A MAX.
設置場所	屋内
外形寸法	335(L) × 263(W) × 97(D)mm
質量	約4kg



製品仕様【カードリーダー (IDm読取式) R10-T】

製品概要

本製品は、アクセスコントロールユニットと接続することにより、非接触カードリーダーとして機能する装置です。フェリカカードのIDm (製品番号) を読み出します。小形で防水仕様 (屋外設置可能) であることを特長とします。

製品仕様

品名	非接触カードリーダー
品番	R10-T
読取カードフォーマット	FeliCa IDm, Mifare CSN, iCLASS
有効読取距離	CARD 約5 c m (理想的な設置条件の場合)
	KEY 約3 c m (理想的な設置条件の場合)
	TAG 約3 c m (理想的な設置条件の場合)
出力形式	Wiegand 64bit (標準仕様)
配線長	コントローラーまで最大150m
動作表示	2色LED (赤/緑)、ブザー
電源	DC10V ~ 16V 225mA MAX.
動作環境	温度: 0 ~ 65
設置場所	屋内・屋外
色	黒
外形寸法	102.6(L) × 48.3(W) × 20.3(D)mm



製品仕様【入退室管理ソフト アクストラックス】

製品概要

本製品は、アクセスコントローラー‘AC-215’と通信接続し、複数箇所のドアを入退室管理します。各機器の設定、ユーザー登録情報、入退室履歴は一括で管理・設定され、グラフィカルな画面にて情報確認が可能です。また、1台のPCをサーバーモードでインストールし(必須)、他のPCをクライアントモードでインストールする(オプション)ことで、同一ネットワーク上での複数のPCによる管理が可能です。

システムに必要な条件

CPU: インテルPentium 4 以上

RAM: 2GB以上

HDD: 4GB以上の空きスペース

OS: Windows XP、7、2003 server、2008 server

製品仕様

アクセスコントロールユニット(ACU)・基本接続数 = 32、オプションで最大256パネルまで対応

ネットワーク・最大接続数 = 32

ネットワークごとのACU・最大接続数 = 32

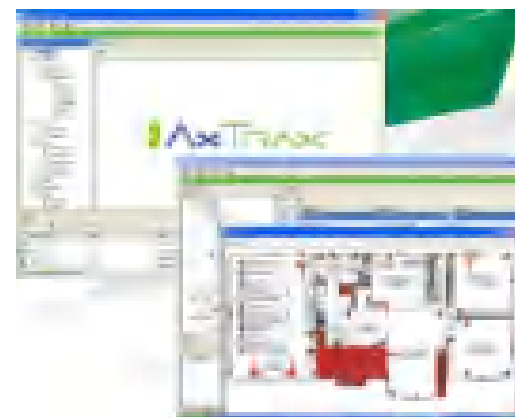
権限ユーザー・最大登録数 = 5,000

休日設定・最大登録数 = 64 (MSアウトルックから国民休暇日をインポート可能)

タイムゾーン・最大登録数 = 32

アクセスグループ・最大登録数 = 128

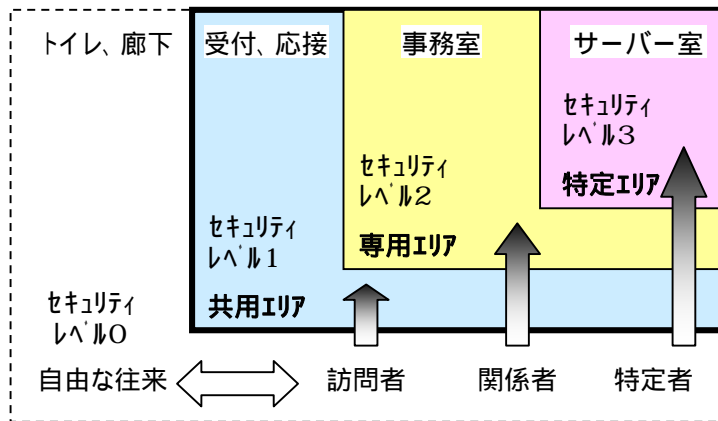
グローバルアンチパスバックゾーン・最大登録数 = 128



入退室管理システムの設計指針について

■ 【ゾーニング】

－ セキュリティレベルに合わせてオフィス空間をエリア分けする



レベル1 共用エリア = 受付、応接等の部外者を受け入れる為のオープンスペース

- 執務スペースへの部外者の無断入室を禁ずる旨の表示をする。

レベル2 専用エリア = 部外者の直接の入室を禁じている一般執務スペース

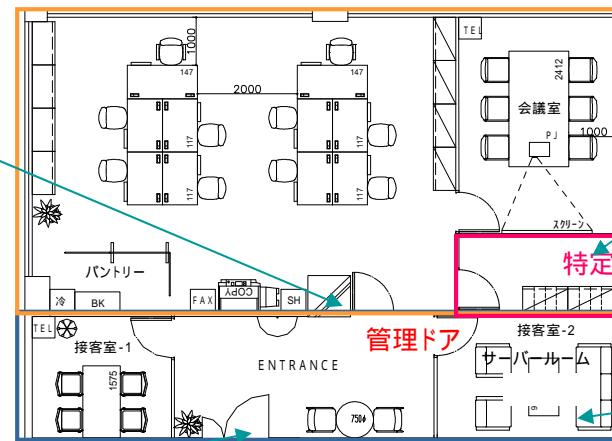
- エリアへ通ずるドアは常時施錠状態とし、部外者の入室を制限する。

レベル3 特定エリア = 重要書類、資産、金庫等の管理を必要とする重要スペース

- エリアへ通ずるドアは常時施錠状態とし、権限を与えられた特定の人物のみ入室可能とする。また入退室履歴を保存する。

常時施錠状態にし、部外者の不用意な侵入を防止します。

無人受付には、内部を呼び出すための内線電話、インターホン等が必要となります。



専用エリア

特定エリアは必ず専用エリア内に配置し、エリアレベルの下位から上位へと順に通過しなければ到達できないようにします。

共用エリア

接客スペースは必ず専用エリアの外に配置し、部外者を執務エリアに入れません。